所沢市立北小学校　学校だより　　令和７年１月３１日

はなみずき

学校教育目標
「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

共に食べる楽しさ（給食週間に思う）

校長　関根　祐一

本日、令和７年度新入学説明会とみどり学級入級説明会を開催いたしました。時期を同じくして学校の梅も花がほころび始め、２０分休みのいきいきタイムには、比較的穏やかな日差しと澄んだ空気の中で長縄跳びに取り組む子供たちの歓声が広がっています。最も寒いとされる大寒の内にも春に向かう息吹を感じているところです。

春を予告する梅の花

給食時間の風景

今週（１/２７～３１）、本校では給食週間の取組を展開してきました。学年ごとにメッセージや手紙、作品制作に取り組みました。給食時間の放送で取り組んだ内容を紹介し、作品を校内に展示、メッセージや手紙は調理員の皆さんに届けられます。学校中が食への思い・感謝の温かさで一杯になっています。献立も期間中には人気のメニューが並びました（２月には６年生が考案してくれた献立２品が給食に登場する予定です。詳しくは月の献立表と「きゅうしょく通信」に掲載されています。是非ご覧ください）。

今、多くの学級で子供たちは顔を向き合わせ、会話を交えて給食の時間を過ごしています。かつてはコロナ禍に入り、長く続いた日常的な光景が、以来、多くの学校で黙食の経験をしてきました。児童の喫食状況に応じた指導を行う中心となる教諭が出張で不在の時は、試行錯誤しながら学級担当が給食指導を担ってきました。今年度の給食週間を迎えるにあたり、改めて子供たちの喫食時の様子を観察してきました。

給食時間の子供たちの満面の笑みに触れ感じるのが標題の「共に食べる楽しさ」です。“大切さ”と言ってもよいかもしれません。前向き喫食に取り組むみどり学級の給食時間には、目的・目標に沿って協力して活動する中で共に食べる楽しさがありますし、向き合っての喫食を再開した学年・学級の給食時間には、定期的に変わる座席を基本にした偶然性を含んだグループの友達と、食事を介して学習課題に限らない全く自由な話題で楽しく交流する時間が戻りました。協力と交流がある給食時間はクラスの友達を広げたり、一層深く知り合えたりできる場となる学校生活の中でもとても貴重な時間であると思っています。

ご家庭でも、学校の給食の時間に友達とどのような楽しい交流があったのか、それこそ食事の時間などに話題にしていただけたらと思います。

これからも沢山の支えによって美味しく楽しく食事ができることに感謝して**“いただきます！”**

授業研究発表会を開催しました

市教育委員会から「トコろん学力向上プロジェクト事業」の研究委託を受け１月28日（火）に研究発表会を開催しました。研究主題は「想像～目的意識をもち、自分の考えを表現できる児童の育成をめざして～」です。

授業では、相手や目的に応じて、自分の考えを表現する力を育むための読解力の向上をめざし、文章や資料を読み取る活動を行いました。

研究授業では、児童が自分の考えをもち、友達と交流する中で考えを深めたり広げたりする姿が見られました。

２月もご協力をお願いいたします。